

第1回多治見市地域密着型サービス運営委員会議事録

日 時：平成28年6月30日（木）

14:30～14:55

場 所：精華地域包括支援センター 2階

出席： 荒木登志枝委員、小栗武仁委員、後藤達彦委員、谷加代子委員、橋本和夫委員
長谷川洋子委員、山田隆司委員、山中克仁委員、渡辺博貴委員
(アイエホ順)

欠席： 小鞠清子委員

事務局

福祉部： 瀬瀬福祉部長

高齢福祉課： 杉村課長、春田リーダー、小栗リーダー、加藤、早瀬

社会福祉協議会 地域福祉課： 澁谷課長

精華地域包括支援センター： 森

会長 引き続き、平成28年度 第1回多治見市地域密着型サービス運営委員会を開催します。それでは、地域密着型サービス運営委員会の議題に入ります。議題1について事務局より説明願います。

事務局 議題1 多治見市地域密着型サービス事業所の指定更新について
—資料に基づいて説明—

会長 事務局の説明について、ご質問ございませんか。

委員 地域密着型通所介護はどのようなものですか。

事務局 小規模のデイサービスのことです。

4月から介護保険法の改正により利用定員19人未満の事業所は、地域密着型通所介護事業所となりました。指定権者が岐阜県から市町村に移った。原則、多治見市の事業所を使えるのは多治見市民だけという位置付けです。特別な事情がある場合は、両市町で協議を経て特例で指定することになります。

会長 他はいかがでしょうか。

—その他意見なし—

会長 続いて、議題2について、事務局より説明願います。

—資料（地域密着型通所介護事業所の市外指定）に基づいて説明—

特別な事情のある個人に対して指定するものなので、他の方は利用できません。

会長 事務局の説明について、ご質問ございませんか。

委員 特別な事情はどんなことですか。

事務局 今回の場合は、瑞浪市のサービス付高齢者向け住宅に居住している方であったため、その住宅から近いところのデイサービスを利用したいと希望があり、これを指定しないと、瑞浪市に住んでいながら多治見市のデイサービスに通うことになるため、事情を考慮し指定に至りました。今後、このような事情以外は指定しないと決めています。

会長 多治見市に住民票を置いたまま、瑞浪市に住んでいるということですね。

事務局 本来は住所変更をしていただけるとよいのですが、地元に住所を置いたまま、住まいは違うという方は結構みえます。

事務局	もともとこの方はデイサービスを利用してみえたのですか。
委員	他の瑞浪市のデイサービスを利用してみえたのですが、その経営が悪化したため、別のデイサービスを探していたという経過があります。
事務局	サービス付住宅とこのデイサービスは同じ系列なのでどうかと思います。近くのデイサービスはいろいろあると思いますがどうでしょう。
委員	このデイサービスはリハビリの機器がいろいろありますし、ご本人の強い希望がありましたので、このデイサービスとなりました。
事務局	利用者さんの希望が第一優先になりますか。
会長	そうです。第一は利用者の希望と、事業所の受け入れ態勢を考慮しています。他はいかがでしょうか。
	—その他意見なし—
会長	議題2については以上です。続いて、その他について、事務局からお願いします。
事務局	次回の委員会は、2月頃を予定しています。
委員	多治見市に介護事業所は100以上ありますか。届け出をすればいいですか。
事務局	基準に見合うものかを審査して多治見市が指定します。
委員	指定取り消しになることはありますか。
事務局	大きな事故があったり、経営がよろしくない場合など、他の自治体ではあります。
委員	チェックは市役所がするのですか。
事務局	指定権者としてチェックします。状況確認し、まず指導をしますが、それでも改善がないようであれば取り消しということもあり得ます。
委員	指導監査に入るということはいないのですか。
事務局	6年の指定期間のうちに何回かはきちんと指導監査に入らせていただいて、運営状況などを確認していきます。
委員	睨みはきかせてください。
事務局	運営推進会議といって地域のみなさんも交えて半年に1回か2か月に1回状況を示さなければならないので会議で確認していくという方法と、一斉に事業所を集めて会議を開催したり、個別に指導にいたりといろいろな手法で確認していかなければと思っています。
会長	その他、包括支援センター運営協議会のことについても含めていかがでしょうか。
委員	包括の評価表は、包括が3施設ではじめたころの評価表であるため、評価方法は変えていくとよいと思います。
委員	評価表は外部に公表されることはないのですか。
事務局	一般向けに公表はしておりません。
委員	身近な包括と他のところはどうか住民としては気になります。自己評価だけでなく、市民からの意見も聞かれるといいです。公表されると意見がうかがえると思いますし、住民に向いていることが大切だと思います。
事務局	この運営協議会も、包括を評価する立場にあります。会議の報告なども市民に示していく方向です。
委員	委員の中でも私だけが一般市民です。資料を見てもよくわからないことが多

事務局	いので、図などにしていくとよいと思います。 自己評価表の質の評価については検討課題とします。また、この会議の議事録は市民に公表していきます。
会長	評価の方法などは検討していただきたいと思います。 これをもちまして、平成 28 年度第 1 回多治見市地域密着型サービス運営委員会を終わります。